

# 新型コロナとたたかう医療機関に財政支援を

病院：「頑張れば頑張るほど赤字が膨らむ」

市内にある5つの基幹病院や各診療所、クリニックでは、市中感染がひろがり、マスクや防護具も足りない中で、新型コロナ対策に、通常医療、救急医療に奮闘しています。しかし、患者数が大きく減少し、医療経営は危機的状況です。



4月30日「しんぶん赤旗」より

## 地域医療への影響は…緊急アンケートを開始

日本共産党は、4月16日に「感染爆発、医療崩壊を止める緊急提案」を発表。「外出自粛・休業要請と一体の補償、検査体制強化と医療現場への本格的財政支援」を政府に求めています。

さらに、党市議団と地区委員会は、市内の病院、診療所、クリニックへの緊急アンケートを開始。さっそく、6・7日には市内基幹病院、診療所、クリニックを訪問しました。

### 「6割も患者が減った」アンケート活動はタイムリ

流山医師会と歯科医師会役員の医師・歯科医師との懇談では、党のアンケート活動に対して歓迎の声が寄せられ、「超党派で議会との話し合いをしたい」との期待も…。地域の診療所訪問では、診療所の経営問題からPCR検査拡充についての意見や安倍政権への批判など話が弾むところもありました。

東葛地区では、流山市、柏市、野田市、我孫子市の医療機関にアンケートを郵送。回答が戻りはじめています。

## 「新型コロナ対策条例」を提案 補正予算の組み換えも

党市議団は6月議会で、東京・杉並区や成田市のように、医療機関への公的支援を強化するための「新型コロナ対策条例」と、市内の基幹病院への総額5億円の財政支援を盛り込んだ補正予算の修正案を、提案すべく準備をすすめています。

また、「新型コロナ対策条例」について、議会全体で制定するべく15日に協議を予定しています。

日本共産党

流山民報

5月号外 2022年5月14日  
発行：日本共産党流山市議団  
電話：7157-6140